

株式会社 主婦の店鶴岡店
WEB-EDIシステム

アップ/ダウンロード

ファイルレイアウト

2011年5月28日
Ver1.02

東芝テックソリューションサービス株式会社

1. 受注ダウンロードファイルレイアウト

テキストCSV(カンマ区切)形式

改行コード有り(CR/LF)

文字属性はダブルクォーテーションで括られます(数値属性は括り文字なし)

No.	項目名	属性	最大バイト数		桁数 固定	備考
			全桁	小数		
1	伝票番号	文字	9		○	伝票番号(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123456
2	法人コード	文字	4		○	企業マスタのセンターコード(上4桁)2683固定
3	取引先コード	文字	6		○	仕入先コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123
4	店コード	文字	5		○	店舗コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】00012
5	分類コード伝票	文字	6		○	SA分類コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000010
6	伝票区分	文字	3		○	(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】001:定番 010:特売 006:返品
7	発注日	文字	6		○	発注日(西暦YYMMDD)【例】080401
8	納品日	文字	6		○	納品予定日(西暦YYMMDD)【例】080401
9	限度日	文字	6		○	納品限度日(西暦YYMMDD)【例】080401
10	配送便コード	文字	1		○	発注伝票の便No
11	企業名称	文字	20			企業マスタの漢字企業名称
12	店舗名称	文字	20			店舗マスタの漢字店舗名称
13	仕入先名称	文字	16			仕入先マスタの漢字仕入先名称
14	伝票行番号	数値	2	0		Z9 行番号
15	入数	数値	4	0		ZZZ9 入数
16	単位数	数値	4	0		ZZZ9 発注データの入力発注数×発注単位 *単位数
17	単位	文字	2			単位呼称
18	数量	数値	7	1		ZZZZ9.Z 発注数量(単位数×入数) 小数以下が「0」の場合は小数点以下省略
19	原単価	数値	10	2		ZZZZZZ9.ZZ 原単価 小数以下が「0」の場合は小数点以下省略
20	売単価	数値	7	0		ZZZZZZ9 売単価
21	原価金額	数値	10	0		ZZZZZZZZZ9 原単価×単位数×入数
22	売価金額	数値	10	0		ZZZZZZZZZ9 売単価×単位数×入数
23	仕入先商品コード	文字	13		○	発注コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】0000012345678
24	分類コード明細	文字	6		○	SA分類コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000010
25	メーカー名	文字	16			メーカー名(漢字)
26	商品名	文字	28			商品名(漢字)
27	規格名	文字	28			規格名(漢字)

※桁数固定に○が付いているものに関しては、スペースは使用出来ません。先頭ゼロ埋め・右詰めでデータ作成してください。

2. 納品アップロードファイルレイアウト

テキストCSV(カンマ区切)形式

改行コード有り(CR/LF)

文字属性はダブルクォーテーションで括弧しても括弧なくともOK(数値属性は括弧文字なし)

No.	項目名	属性	最大バイト数		桁数 固定	必須	備考
			全桁	小数			
1	伝票番号	文字	9		○	○	伝票番号(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123456
2	法人コード	文字	4		○		企業マスタのセンターコード(上4桁)2683固定
3	取引先コード	文字	6		○	○	仕入先コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123
4	店コード	文字	5		○		店舗コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】00012
5	分類コード伝票	文字	6		○		SA分類コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000010
6	伝票区分	文字	3		○		(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】001:定番 010:特売 006:返品
7	発注日	文字	6		○		発注日(西暦YYMMDD)【例】080401
8	納品日	文字	6		○	○	納品予定日(西暦YYMMDD)【例】080401 納品予定日をセット
9	限度日	文字	6		○		納品限度日(西暦YYMMDD)【例】080401
10	配送便コード	文字	1		○		発注伝票の便No
11	企業名称	文字	20				企業マスタの漢字企業名称
12	店舗名称	文字	20				店舗マスタの漢字店舗名称
13	仕入先名称	文字	16				仕入先マスタの漢字仕入先名称
14	伝票行番号	数値	2	0		○	Z9 行番号
15	入数	数値	4	0			ZZZ9 入数
16	単位数	数値	4	0			ZZZ9 発注データの入力発注数×発注単位 *単位数
17	単位	文字	2				単位呼称
18	訂正数量	数値	7	1		○	ZZZZ9.Z 訂正した数量をセット(数量訂正がない場合は受注数のまま) 小数点以下省略可能
19	原単価	数値	10	2			ZZZZZZ9.ZZ 原単価 小数点以下省略可能
20	売単価	数値	7	0			ZZZZZZ9 売単価
21	原価金額	数値	10	0		○	ZZZZZZZZZ9 原単価×訂正数量
22	売価金額	数値	10	0		○	ZZZZZZZZZ9 売単価×訂正数量
23	仕入先商品コード	文字	13		○		発注コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】0000012345678
24	分類コード明細	文字	6		○		SA分類コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000010
25	メーカー名	文字	16				メーカー名(漢字)
26	商品名	文字	28				商品名(漢字)
27	規格名	文字	28				規格名(漢字)

※フォーマットは発注ダウンロードファイルと同一となります。

受注ダウンロードデータの「納品日予定日」・「訂正数量」・「原価金額」・「売価金額」のみをセットしなおして送信可能です。(色分け項目)

それ以外の項目を変更しても、更新されません。(原価訂正等を行うことはできません)

※桁数固定に○が付いているものに関しては、スペースは使用出来ません。先頭ゼロ埋め・右詰めでデータ作成してください。

※受注ダウンロードファイルをEXCELで編集して納品データを作成すると、

データ形式が変更され正しくアップロード出来なくなりますので、EXCELでの編集は注意して行ってください。

2. 納品アップロードファイルレイアウト

納品データアップロード時チェック処理

項目数チェック	アップロードされたファイルの項目数をチェックします。 項目数が満たない場合はエラーとなります。 必須項目以外の項目は省略可能ですが、必ず区切り文字「,」（カンマ）はつけて下さい。
必須項目チェック	必須項目が省略されていないかをチェックします。 必須項目が省略されている場合はエラーとなります。
桁数固定チェック	桁数固定項目の桁数をチェックします。 桁数が異なる場合はエラーとなります。 コード等、規定桁数に満たない場合は先頭ゼロ埋めで右詰めにします。
最大バイト数チェック	項目の桁数が最大バイト数を超過していないかをチェックします。 最大桁数を超過している場合はエラーとなります。 半角文字は1文字1バイト、全角文字は1文字2バイトです。
数値型チェック	数値型項目が正しく設定されているかをチェックします。 数値以外の値の場合はエラーとなります。 数値型項目の場合は囲み文字「"」（ダブルクォーテーション）はつけないでください。
伝票番号チェック	伝票番号が更新対象であるかをチェックします。 更新対象は、該当仕入先の伝票でかつ小売側基幹システムに送信されていないデータとなります。 更新対象でない場合や、存在しない伝票番号の場合はエラーとなります。
取引先コードチェック	取引先コードが、ログインされたユーザの取引先コードと一致しているかをチェックします。 ログインしたユーザの取引先コードと一致しない場合はエラーとなります。
納品日チェック	納品日の日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年下2桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「080401」（6桁固定）
伝票行番号チェック	該当伝票の伝票行番号が更新対象であるかをチェックします。 更新対象は、該当仕入先の伝票でかつ小売側基幹システムに送信されていないデータとなります。 更新対象でない場合や、存在しない伝票行番号の場合はエラーとなります。
訂正数量チェック	訂正数量が「0」以上であるかをチェックします。 「-1」以下が指定されている場合はエラーとなります。
原価金額チェック	原価金額が、発注データの原単価×訂正数量の値であるかをチェックします。 発注データの原単価×訂正数量の値でない場合はエラーとなります。
売価金額チェック	売価金額が、発注データの売単価×訂正数量の値であるかをチェックします。 発注データの売単価×訂正数量の値でない場合はエラーとなります。

3. 手書き伝票アップロードファイルレイアウト

テキストCSV(カンマ区切)形式

改行コード有り(CR/LF)

文字属性はダブルクォーテーションで括弧しても括弧なくてもOK(数値属性は括弧文字なし)

No.	項目名	属性	最大バイト数		桁数 固定	必須	備考
			全桁	小数			
1	伝票番号	文字	9		○	○	伝票番号(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123456
2	取引先コード	文字	6		○	○	仕入先コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123
3	店コード	文字	5		○	○	店舗コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】00012
4	分類コード伝票	文字	6		○		SA分類コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000010
5	伝票区分	文字	3		○	○	(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】001:定番 010:特売 006:返品
6	納品日	文字	6		○	○	納品予定日(西暦YYMMDD)【例】080401
7	配送便コード	文字	1		○	○	伝票の便No
8	入力区分	文字	1		○	○	0:分類コード, 1:発注コード
9	伝票行番号	整数	2			○	Z9 伝票行番号
10	数量	数値	7	1		○	ZZZZ9.Z 発注数量(単位数×入数) 小数点以下省略可能
11	原単価	数値	10	2		○	ZZZZZ9.ZZ 原単価 小数点以下省略可能
12	売単価	数値	7	0		○	ZZZZZ9 売単価
13	発注コード	文字	13		○		発注コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】0000012345678
14	分類コード明細	文字	6		○		SA分類コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000010
15	直送区分	文字	1		○	○	0:通常, 1:直送

※桁数固定に○が付いているものに関しては、スペースは使用出来ません。先頭ゼロ埋め・右詰めでデータ作成してください。

※マイナス入力可能な項目については、符号も1桁と扱います。

手書き伝票データアップロード時チェック処理

項目数チェック	アップロードされたファイルの項目数をチェックします。 項目数が満たない場合はエラーとなります。 必須項目以外の項目は省略可能ですが、必ず区切り文字「,」(カンマ)はつけて下さい。
必須項目チェック	必須項目が省略されていないかをチェックします。 必須項目が省略されている場合はエラーとなります。
桁数固定チェック	桁数固定項目の桁数をチェックします。 桁数が異なる場合はエラーとなります。 コード等、規定桁数に満たない場合は先頭ゼロ埋めで右詰めにします。
最大バイト数チェック	項目の桁数が最大バイト数を超過していないかをチェックします。 最大桁数を超過している場合はエラーとなります。 半角文字は1文字1バイト、全角文字は1文字2バイトです。
数値型チェック	数値型項目が正しく設定されているかをチェックします。 数値以外の値の場合はエラーとなります。 数値型項目の場合は囲み文字「"」(ダブルクォーテーション)はつけないでください。
取引先コードチェック	取引先コードが、ログインされたユーザの取引先コードと一致しているかをチェックします。 ログインしたユーザの取引先コードと一致しない場合はエラーとなります。
店コードチェック	指定された店コードが、店舗マスタに存在しているかをチェックします。 指定された店コードが店舗マスタに存在しない場合はエラーとなります。

3. 手書き伝票アップロードファイルレイアウト

分類コード伝票チェック	指定された分類コード伝票が、分類マスタに存在しているかをチェックします。 指定された分類コードが分類マスタに存在しない場合はエラーとなります。 分類コード明細を指定している場合は「000000」もセット可能です。
伝票区分チェック	指定された伝票区分が、伝票区分マスタに存在しているかをチェックします。 指定された伝票区分が伝票区分マスタに存在しない場合はエラーとなります。
納品日チェック	納品日の日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年下2桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「080401」(6桁固定)
入力区分チェック	指定された入力区分が、「0」(分類コード)・「1」(発注コード)のいずれであるかをチェックします。 指定された入力区分が上記以外の場合はエラーとします。
取引先コード・伝票番号 ・伝票区分・伝票行番号 チェック	指定された取引先コード・伝票番号・伝票行番号・伝票区分のレコードが、既に存在しているかをチェックします。 既に存在している場合はエラーとなります。 既に登録されているデータを訂正する場合は、一度手書き伝票入力画面で削除してからアップロードを行ってください。 新規登録で存在エラーになっている場合は、既に小売側基幹システムに送信されているデータと重複しているため ですので、伝票番号を修正してからアップロードを行って下さい。
入力区分・発注コード チェック	入力区分が「1」(発注コード)の場合に発注コードが指定されているか、もしくは入力区分が「0」(分類コード)の場合に 発注コードが指定されていないかをチェックします。 入力区分が「1」(発注コード)で発注コードが指定されていない場合はエラーとなります。 入力区分が「0」(分類コード)で発注コードが指定されてる場合はエラーとなります。
入力区分・分類コード 伝票・分類コード明細 チェック	入力区分が「0」(分類コード)の場合に分類コード伝票・分類コード明細の関連をチェックします。 入力区分が「0」(分類コード)の場合に分類コード伝票・分類コード明細が以下の場合にエラーになります。 分類コード伝票: 指定なし、分類コード明細: 指定なし 分類コード伝票: 「999999」、分類コード明細: 指定なし 分類コード伝票: 指定なし、分類コード明細: 「000000」
入力区分・取引先コード ・店コード・発注コード・ 分類コードチェック	入力区分が「1」(発注コード)の場合、指定された取引先コード・店コード・発注コード・分類コードの商品が 小売側商品マスタに存在しているかのチェックを行います。 指定した商品が、小売側商品マスタに存在しない場合はエラーとなります。
原単価チェック	原単価が「0」以上の値であるかをチェックします。 原単価が「0」未満の場合はエラーとなります。
売単価チェック	売単価が「0」以上の値であるかをチェックします。 売単価が「0」未満の場合はエラーとなります。
直送区分チェック	指定された直送区分が、「0」(通常)・「1」(直送)のいずれであるかをチェックします。 指定された直送区分が上記以外の場合はエラーとします。

4. 請求アップロードファイルレイアウト

テキストCSV(カンマ区切)形式

改行コード有り(CR/LF)

文字属性はダブルクォーテーションで括弧しても括弧なくてもOK(数値属性は括弧文字なし)

No.	項目名	属性	最大バイト数		桁数 固定	必須	備考
			全桁	小数			
1	帳合先コード	文字	6		○	○	帳合先コード・仕入先コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123
2	買掛締期間開始日	文字	6		○	○	買掛締期間開始日(西暦YYMMDD)【例】080401
3	買掛締期間終了日	文字	6		○	○	買掛締期間終了日(西暦YYMMDD)【例】080401
4	納品日	文字	6		○		発注納品の納品日(西暦YYMMDD)【例】080401
5	店コード	文字	5		○		発注納品の店舗コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】00012
6	伝票区分	文字	3		○	○	(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】001:定番 010:特売 006:返品
7	伝票番号	文字	9		○	○	発注納品の伝票番号(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123456
8	伝票合計金額	数値	10	0			ZZZZZZZZZ9
9	分類コード	文字	6		○		SA分類コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000010

※桁数固定に○が付いているものに関しては、スペースは使用出来ません。先頭ゼロ埋め・右詰めでデータ作成してください。

※マイナス入力可能な項目については、符号も1桁と扱います。

請求データアップロード時チェック処理

項目数チェック	アップロードされたファイルの項目数をチェックします。 項目数が満たない場合はエラーとなります。 必須項目以外の項目は省略可能ですが、必ず区切り文字「,」(カンマ)はつけて下さい。
必須項目チェック	必須項目が省略されていないかをチェックします。 必須項目が省略されている場合はエラーとなります。
桁数固定チェック	桁数固定項目の桁数をチェックします。 桁数が異なる場合はエラーとなります。 コード等、規定桁数に満たない場合は先頭ゼロ埋めで右詰めにします。
最大バイト数チェック	項目の桁数が最大バイト数を超えていないかをチェックします。 最大桁数を超えている場合はエラーとなります。 半角文字は1文字1バイト、全角文字は1文字2バイトです。
数値型チェック	数値型項目が正しく設定されているかをチェックします。 数値以外の値の場合はエラーとなります。 数値型項目の場合は囲み文字「"」(ダブルクォーテーション)はつけないでください。
帳合先コードチェック	帳合先コードが、ログインされたユーザの帳合先コードと一致しているかをチェックします。 ログインしたユーザの帳合先コードと一致しない場合はエラーとなります。
買掛締期間開始日 チェック	買掛締期間開始日の日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年下2桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「080401」(6桁固定)
買掛締期間終了日 チェック	買掛締期間終了日の日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年下2桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「080401」(6桁固定)

4. 請求アップロードファイルレイアウト

買掛締期間開始日・終了日チェック	買掛締期間開始日と買掛締期間終了日の日付の前後関係をチェックします。 買掛締期間開始日が買掛締期間終了日以前でない場合はエラーとなります。
伝票番号チェック	伝票番号が更新対象であるかをチェックします。 更新対象は、該当帳合先の伝票でかつ小売側基幹システムに送信されていないデータとなります。 更新対象でない場合や、存在しない伝票番号の場合はエラーとなります。
伝票区分チェック	該当伝票の伝票区分が更新対象であるかをチェックします。 更新対象は、該当仕入先の伝票でかつ小売側基幹システムに送信されていないデータとなります。 更新対象でない場合や、存在しない伝票区分の場合はエラーとなります。

5. 支払ダウンロードファイルレイアウト

テキストCSV(カンマ区切)形式

改行コード有り(CR/LF)

文字属性はダブルクォーテーションで括られます(数値属性は括り文字なし)

No.	項目名	属性	最大バイト数		桁数 固定	備考
			全桁	小数		
1	帳合先コード	文字	6		○	帳合先コード・仕入先コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123
2	買掛締期間(開始)	文字	8		○	買掛締期間開始日(西暦YYYYMMDD)【例】20080401
3	買掛締期間(終了)	文字	8		○	買掛締期間終了日(西暦YYYYMMDD)【例】20080401
4	支払予定日	文字	8		○	支払予定日(西暦YYYYMMDD)【例】20080401
5	当日営業日	文字	8		○	当日営業日(西暦YYYYMMDD)【例】20080401
6	店舗コードH	文字	5		○	店舗コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】00012 システム管理テーブルの店別買掛管理フラグが帳合先別買掛管理の場合は”
7	前回残高	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
8	今回取引金額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
9	消費税額(外税)	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
10	今回取引合計金額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
11	支払金額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
12	支払調整金額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
13	支払調整税額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
14	取引残高	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
15	支払予定金額(現金)	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
16	支払予定金額(振込)	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
17	支払予定金額(小切手)	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
18	支払予定金額(手形)	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
19	支払予定調整金額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
20	支払予定合計金額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
21	店舗コードA	文字	5		○	店舗コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】00012 システム管理テーブルの店別買掛管理フラグが帳合先別買掛管理の場合は” 000000”
22	摘要コード	文字	4		○	摘要コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】0001 摘要レコードでない場合は省略
23	摘要名称	文字	30			摘要レコードでない場合は省略
24	調整金額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
25	調整税額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
26	店舗コードB	文字	5		○	店舗コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】00012 摘要レコードの場合は省略
27	伝票日付	文字	8		○	伝票日付(西暦YYYYMMDD)【例】20080401 摘要レコードの場合は省略

5. 支払ダウンロードファイルレイアウト

テキストCSV(カンマ区切)形式

改行コード有り(CR/LF)

文字属性はダブルクォーテーションで括られます(数値属性は括り文字なし)

No.	項目名	属性	最大バイト数		桁数 固定	備考
			全桁	小数		
28	伝票番号	文字	9		○	伝票番号(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123456 摘要レコードの場合は省略
29	伝票区分	文字	3		○	(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】001:定番 010:特売 006:返品 摘要レコードの場合は省略
30	分類コード	文字	6		○	SA分類コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000010 摘要レコードの場合は省略
31	伝票合計金額	数値	12	0		SZZZZZZZZZ9
32	備考	文字	50			

※桁数固定に○が付いているものに関しては、スペースは使用出来ません。先頭ゼロ埋め・右詰めでデータ作成してください。

6. 商品情報アップロードファイルレイアウト

テキストCSV(カンマ区切)形式

改行コード有り(CR/LF)

文字属性はダブルクォーテーションで括っても括らなくてもOK(数値属性は括り文字なし)

No.	項目名	属性	最大バイト数		桁数 固定	必須	備考
			全桁	小数			
1	発注コード	文字	13			○	発注商品コード(基本的にはJANコードと同一)
2	単品扱い区分	文字	1				
3	JANコード	文字	13			○	JANコード
4	メーカーコード	文字	7				メーカーコード
5	メーカー名	文字	16				メーカー名(漢字)
6	商品名	文字	28				商品名(漢字)
7	規格名	文字	28				規格名(漢字)
8	メーカー名(ANK)	文字	8				メーカー名(半角カナ)
9	商品名(ANK)	文字	14				商品名(半角カナ)
10	規格名(ANK)	文字	14				規格名(半角カナ)
11	分類Nコード	文字	6				本部最下位コードを把握できれば仕入先でセットする
12	リンクコード	文字	6				基本的に仕入先では把握できないのでセットしない
13	税No	文字	1			○	1:外税, 2:内税, 5:非課税
14	メーカー希望小売価格	数値	6	0			ZZZZZ9 999999はオープン価格として扱う
15	POS取扱期間(開始)	文字	8			○	店頭販売開始年月日(西暦YYYYMMDD)【例】20080401
16	POS取扱期間(終了)	文字	8			○	店頭販売終了年月日(西暦YYYYMMDD)【例】20080401
17	標準値入率	数値	5	1			ZZ9. Z 原価率 小数点以下省略可能
18	原単価1	数値	9	2			ZZZZZ9. ZZ 小数点以下省略可能
19	仕入先コード1	文字	6			○ ○	仕入先コード(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】000123
20	定番売単価1	数値	6	0			ZZZZZ9 売単価
21	バラ入数	数値	4	0			ZZZ9 発注単位入数
22	単位呼称	文字	4			○	(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】0011:ケース, 0012:C/S, 0013:コ
23	便数	文字	1				
24	内容量	数値	5	0			ZZZZ9
25	内容量呼称	文字	4			○	(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】0021:ml
26	単位量	数値	4	0			ZZZ9
27	賞味期間	数値	3	0			ZZ9
28	賞味種別	文字	4			○	(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】0031:時間, 0032:日, 0033:月
29	商品サイズ区分	文字	4			○	(先頭ゼロ埋め・右詰め)【例】0041:cm, 0042mm
30	高さ	数値	4	0			ZZZ9
31	幅	数値	4	0			ZZZ9
32	奥行き	数値	4	0			ZZZ9
33	EOS取扱開始日	文字	8			○	納品予定期間開始年月日(西暦YYYYMMDD)【例】20080401
34	EOS取扱終了日	文字	8			○	納品予定期間終了年月日(西暦YYYYMMDD)【例】20080401
35	発注単位数	数値	4	0			ZZZ9
36	最大発注数1	数値	4	0			ZZZ9
37	バイヤーコード	文字	5				バイヤーコード

※桁数固定に○が付いているものに関しては、スペースは使用出来ません。先頭ゼロ埋め・右詰めでデータ作成してください。

※不明な項目については、主婦の店様とご相談の上、入力/未入力を判断してください。

6. 商品情報アップロードファイルレイアウト

商品情報データアップロード時チェック処理

項目数チェック	アップロードされたファイルの項目数をチェックします。 項目数が満たない場合はエラーとなります。 必須項目以外の項目は省略可能ですが、必ず区切り文字「,」(カンマ)はつけて下さい。
必須項目チェック	必須項目が省略されていないかをチェックします。 必須項目が省略されている場合はエラーとなります。
桁数固定チェック	桁数固定項目の桁数をチェックします。 桁数が異なる場合はエラーとなります。 コード等、規定桁数に満たない場合は先頭ゼロ埋めで右詰めにします。
最大バイト数チェック	項目の桁数が最大バイト数を超過していないかをチェックします。 最大桁数を超過している場合はエラーとなります。 半角文字は1文字1バイト、全角文字は1文字2バイトです。
数値型チェック	数値型項目が正しく設定されているかをチェックします。 数値以外の値の場合はエラーとなります。 数値型項目の場合は囲み文字「"」(ダブルクォーテーション)はつけなくてください。
仕入先コード1チェック	仕入先コード1が、ログインされたユーザの取引先コードと一致しているかをチェックします。 ログインしたユーザの取引先コードと一致しない場合はエラーとなります。
発注コード・JANコード チェック	指定された発注コード・JANコードの組み合わせのデータが既に小売側基幹システムに送信済みかをチェックします。 既に小売側基幹システムに送信済みの場合はエラーとなります。 ただし、データ保存期間(標準90日)を超えたものに関しては、データを送信済みかのチェックは行いません。 また、指定した発注コードJANコードの組み合わせのデータが、小売側基幹システムに送信前であれば、該当データを更新します。
POS取扱期間(開始) チェック	POS取扱期間(開始)を指定した場合、日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年4桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「20080401」(8桁固定)
POS取扱期間(終了) チェック	POS取扱期間(終了)を指定した場合、日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年4桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「20080401」(8桁固定)
POS取扱期間(開始) POS取扱期間(終了) チェック	POS取扱期間(開始)・POS取扱期間(終了)の両方を指定した場合、日付の前後関係をチェックします。 POS取扱期間(開始)が、POS取扱期間(終了)以前でない場合はエラーとなります。 いずれか一方しか指定していない場合は、前後のチェックは行いません。
単位呼称チェック	単位呼称が指定された場合、4桁固定かどうかをチェックします。 指定された単位呼称が4桁固定でない場合はエラーとなります。 単位呼称が省略されている場合は、チェックしません。
内容量呼称チェック	内容量呼称が指定された場合、4桁固定かどうかをチェックします。 指定された内容量呼称が4桁固定でない場合はエラーとなります。 内容量呼称が省略されている場合は、チェックしません。
賞味種別チェック	賞味種別が指定された場合、4桁固定かどうかをチェックします。 指定された賞味種別が4桁固定でない場合はエラーとなります。 賞味種別が省略されている場合は、チェックしません。

6. 商品情報アップロードファイルレイアウト

商品サイズ区分チェック	商品サイズ区分が指定された場合、4桁固定かどうかをチェックします。 指定された商品サイズ区分が4桁固定でない場合はエラーとなります。 商品サイズ区分が省略されている場合は、チェックしません。
EOS取扱開始日 チェック	EOS取扱開始日を指定した場合、日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年4桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「20080401」(8桁固定)
EOS取扱終了日 チェック	EOS取扱終了日を指定した場合、日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年4桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「20080401」(8桁固定)
EOS取扱開始日 EOS取扱終了日 チェック	EOS取扱開始日・EOS取扱終了日の両方を指定した場合、日付の前後関係をチェックします。 EOS取扱開始日が、EOS取扱終了日以前でない場合はエラーとなります。 いずれか一方しか指定していない場合は、前後のチェックは行いません。
納品日チェック	納品日の日付形式が正しいかをチェックします。 正しい日付が指定されていない場合はエラーとなります。 日付は西暦年下2桁+月2桁+日2桁の形式で、1桁の場合は「0」を付加します。 例. 2008年4月1日の場合「080401」(6桁固定)
入力区分チェック	指定された入力区分が、「0」(分類コード)・「1」(発注コード)のいずれであるかを確認します。 指定された入力区分が上記以外の場合はエラーとします。
取引先コード・伝票番号 ・伝票区分・伝票行番号 チェック	小売側基幹システムに送信されていないデータで、指定された取引先コード・伝票番号・伝票行番号・伝票区分のレコードが、既に存在しているかを確認します。 既に存在している場合はエラーとなります。 既に登録されているデータを訂正する場合は、一度手書き伝票入力画面で削除してからアップロードを行ってください。
入力区分・発注コード チェック	入力区分が「1」(発注コード)の場合に発注コードが指定されているか、もしくは入力区分が「0」(分類コード)の場合に発注コードが指定されていないかを確認します。 入力区分が「1」(発注コード)で発注コードが指定されていない場合はエラーとなります。 入力区分が「0」(分類コード)で発注コードが指定されている場合はエラーとなります。
入力区分・分類コード 伝票・分類コード明細 チェック	入力区分が「0」(分類コード)の場合に分類コード伝票・分類コード明細の関連を確認します。 入力区分が「0」(分類コード)の場合に分類コード伝票・分類コード明細が以下の場合にエラーになります。 分類コード伝票: 指定なし、分類コード明細: 指定なし 分類コード伝票: 「999999」、分類コード明細: 指定なし 分類コード伝票: 指定なし、分類コード明細: 「000000」
入力区分・取引先コード ・店コード・発注コード・ 分類コードチェック	入力区分が「1」(発注コード)の場合、指定された取引先コード・店コード・発注コード・分類コードの商品が小売側商品マスタに存在しているかのチェックを行います。 指定した商品が、小売側商品マスタに存在しない場合はエラーとなります。
原単価チェック	原単価が「0」以上の値であるかを確認します。 原単価が「0」未満の場合はエラーとなります。
売単価チェック	売単価が「0」以上の値であるかを確認します。 売単価が「0」未満の場合はエラーとなります。
直送区分チェック	指定された直送区分が、「0」(通常)・「1」(直送)のいずれであるかを確認します。 指定された直送区分が上記以外の場合はエラーとします。